No.140

No 14

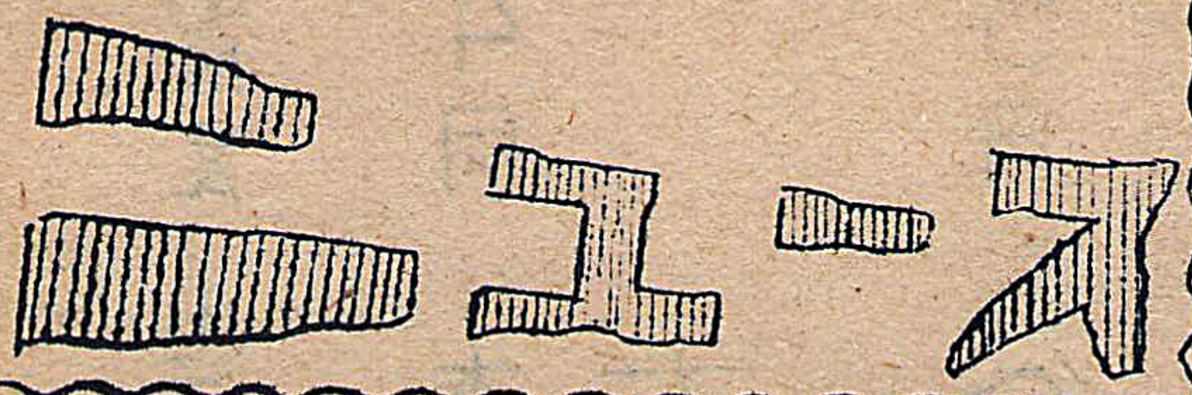
S46.3.10

SHC ヨコハマ支部

横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町1-

鈴木国之

編集 鈴木口之



第194回 支部山行

牛ノ寝山

4月18日（日） 前夜発 日帰り

コース

塩山 ═══ 裂石 ——— 上日川峠 ——— 石丸峠

——— 牛ノ寝山 ——— 小管 ═══ 奥多摩

歩く時間
約9時間

地図 1/5万 丹波

持って行くもの
弁当二食分、雨具、懐中電灯

費用
約1200円

集合場所及時間
横浜駅7.8番線ホーム地下道上 P.M8:30

係
碇 清人 ℃TEL 951-4226

展望は余り良くはありませんが、新緑の原生林の中の静かな尾根道です。 但し足に自信のある方のみ。

46年度 山行地 決定！

4月 本部集中 4/4 竹田

左善隆

5月 谷川岳 4/16 荒

6月 鳥帽子・湯ノ丸 山田 渡辺(隆)

7月 苗場山 佐久(達) 垣見

8月 クズバ沢 石井

合同キャンプ

9月 白ヶ門山 善波 渡辺(三)

10月 会津駒 石川 吉岡(信)

11月 御堂黒岳 阿部(女性)

11月 忘年山行

1月 高川山

2月 スキー 道志 中野

3月 三ノ塔 足立 松井

予備日

第191回 支部山行報告

高柄山

参加者 庭清人、久保田治、青木美枝

東神奈川駅を出発する頃にはってても、係をふくめて男性三人と女性一六年生の男の子と女性一人しか集まらず、まずまず出発した。天候もありばっきりしないし、車中検討した結果予定を変更して高柄山に登り、近くにある温泉に入って帰ろうと言う結果になり、四方津駅に下りた。駅から歩く頃には雲などきっと無くなり山へ向う。

山頂まではヤブばかりで野バラのトゲや松の連続で顔やチ、足までひっかき傷がつきほんの景色は絵に書いた様にステキでした。

下山する事になりましたが指導標もはっきりなくまず道のある方へ下り初める。途中で道もなくなり、ガケみたいな所をおりる事に、木や木の枝、つるなどにつかまりターザンみたいなまねもやった。途中私はスベり落ちると言う、一幕もあり、下の千足部落が見える所まで来る頃には、顔、頭から足の先までほこりだらけになってた。

予定の温泉に入る時間も無くなりましたので、男性群は帰りの車中までその事が心残りの様でした。

係りを初め男性はみんな親切な方々ばかりなので、思い事もありましたが、とても楽しい山行になりました。

青木美枝 記

第19回支部山行報告

志賀高原　発哺スキー場

参加者　勝野美芳子、佐々木美智子、渡辺三世子、阿部早苗、松井百代、茂木典幸、吉原正夫　以上6名

一日目

始めはづ平で滑ったが、ギャップが多いのと大勢の人で滑りずらい。天気が良いので北アルプスの山々がはっきり見え、とてもきれいだ。佐々木さんからボーゲンなど教わったのですが、皆さんにいへんうまいので付いて行くのがやっと。どうにか慣れて来たので早々と旅館に帰ったのですが、日が暮れて来た。

二日目

今日も朝から好天に恵まれ、よいスタートを切る。雪にも恵まれ東館山で滑ろうと言うのでロープウェイで上る。初級コースを滑ったのですが、変化が無く、つまらないと言うので上級コースへ行ったのですが、今回で疲れの小生にはきつくドジを踏みそうでした。（旅館に着いて、フロに入り足を温めたので試る）

だからその時は多少の痛みはあったが夢中で滑り帰って来ました。

三日目

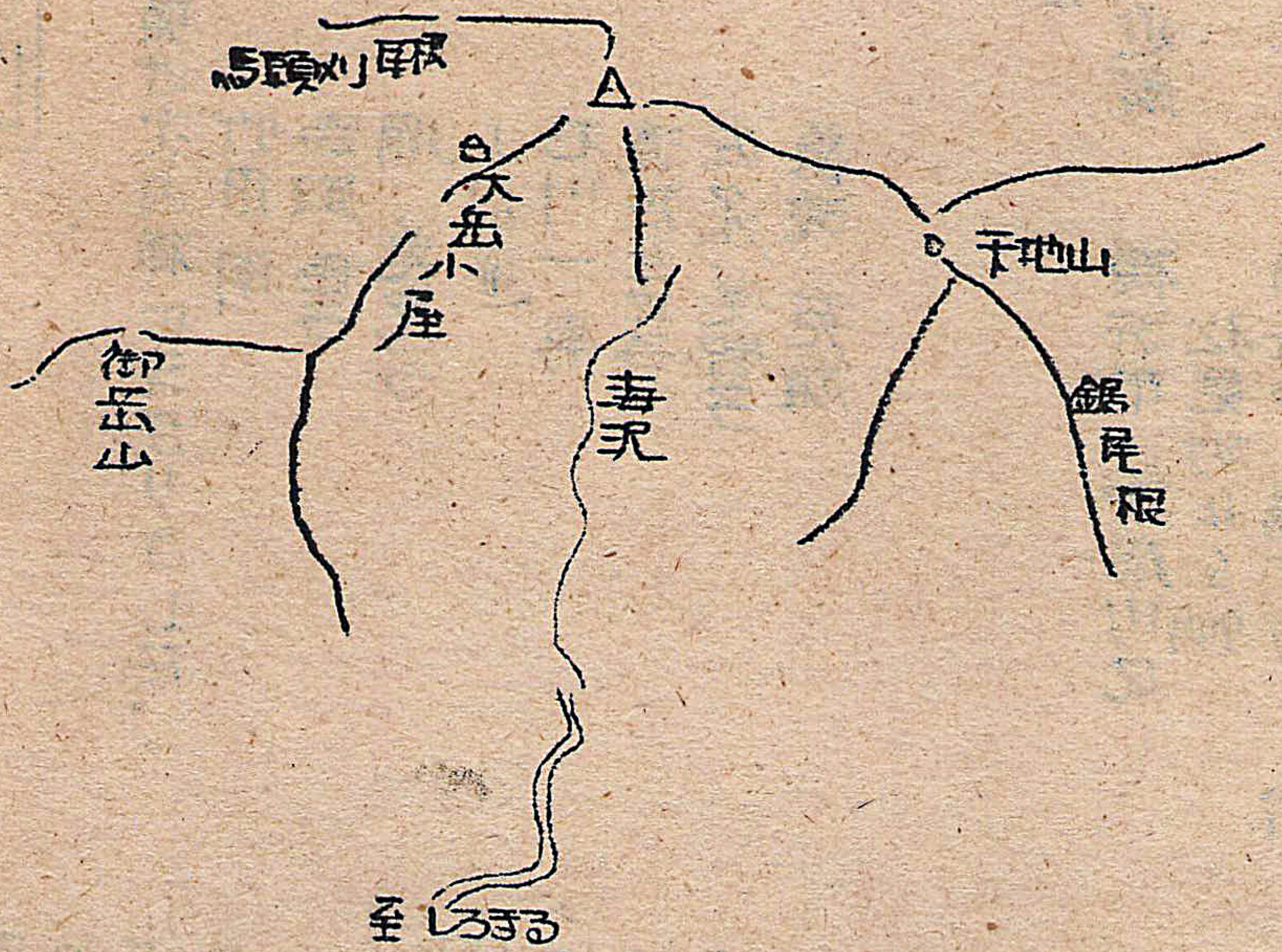
朝早く起き、外を見たら吹雪いていましたが、今回のスキーもあと半日なので、寒いく〜と言いながらゲレンデに散って行く。小生と佐々木さんの妹さんと留守番し、五目ならべなどしながら、帰りを待つ。

楽しかったスキー場に別れを告げ湯田中行のバスに乗る。長野行の電車にはまだ時間があるので立喰ソバを食べる。量が少ないので、男共の二杯は就りますがレディの三杯食べたのには驚く。長野からは白山乙号で無事帰り、大過結構なスキー旅行でした。

吉原記

第193回 支部山行

本部集中 大岳山 4月4日(日)



携行品　弁当，雨具、水筒，懐中電灯、替靴下

費用　800

係り　竹田 明

集合　横浜駅 ~~東横線ホーム菊名寄 AM 7:00~~
東横線ホーム菊名寄 AM 7:00

新ハイキングブラリー　箱根鷹ノ巣山 3/

コース　横浜——小田原——畑宿---雨竜滝
9.10~9.40　10.00　11.10~

----鷹ノ巣山---- 浅間山----小涌谷
12.10~12.40　13.00~15.00　15.30~16.00

——小田原——横浜

申込　鈴木国文

Tel 045 (741) 2642　P.M 7.00~9.00 マデ

（裏面に続く）

お知らせ

46年度委員は次の様に決まりました。

代表　竹田明
会計　吉岡信子
委員　脇美芳子
　　山田進
　　石川一男
　　渡辺三世子
　　佐保美智子
　　善波英雄

新入会員

栗本　近蔵　横浜市　神奈川区　松見町4ら944
会田　博子　横浜市　場下町4ら27
加藤　潔　横浜市　戸塚区　下倉町公田24の1630

行事報告

2月7ら9日　志賀スキー
2月7日　高柄山
2月10日　例会　於婦人会館

参加8名
参加名
出席27名

行事予定

3月10日　例会　於婦人会館
3月21日　支部山行　乾徳山
3月28日　新ハイキングコース
4月4日　本部集中　大岳山

例会

4/13（火）

PM 6:30
ら
9:00

紅葉坂
女婦人会館

ニュース

昭和46年4月13日
新ハイキング横浜
横浜市港北区太尾
〒220　2127　竹
担当・竹田明・脇

第195回支部山行　　健脚者向き

谷川岳　5月23日　（雨天中止）

1,963.2m

前夜
日帰

・コース

上野 ——— 土合 ---------- 谷川岳
22:13 長岡行　　2時間　厳剛新道
-------- 一の倉岳 ---------- 芝倉沢出合
中芝新道
------- 土合 ——————— 上野
旧道

地図
後方
越後湯
四ツ

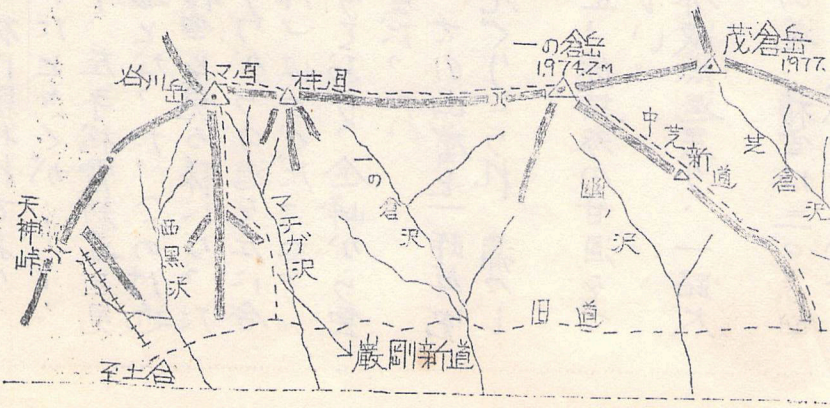
・歩　程　10時間位

・携行品　弁当2食，雨具，水筒(ポリ)，電灯，スパッツ，アイゼン，防寒具，

・費　用　約2,000.—

・集　合　横浜駅7・8番ホーム地下道上22日

・係　鈴木利男，tel 572-9342（鈴木荘）
斉藤隆子，〃 241-8652



第192回支部山行報告

乾徳山から黒金山　3月21日

〈参加者〉(係)石川一男　久保田治　山田、進
碇、清人　吉岡信子　渡辺関代　足立久子
高杉良英　以上八名

今週から運行再開となった満下の登山バスにゆられ、未明の徳和部落へ着いた。小休止の後、一同懐中電灯片手に出発。しばらくは林道歩きが続いたが、乾徳山登山口の道標に従い右折すれば、いよいよ山道の登りとなる。

金晶水、国師ヶ原を経て、茅戸の扇平の急登にかかる頃には陽も昇り、空は抜る様な青色となっていた。

ふりかえれば、富士山、南アルプス等、白く輝く峰々の展望がすばらしい。

扇平からは原生林と岩稜の断続した木梯子や、鎖を伝ってのやせ尾根の登り、最後の鎖場、天狗岩を登りきれば、巨岩の積重なる山頂からは、何一つ遮るもののない三六〇度の大展望。前方にはこれから登る黒金山が、その北側斜面を一本残らず伐採され、無残な姿を見せていた。

かつては、金山黒木の原生林に覆われており、それ故に黒金山と呼ばれていたときく。

乾徳山頂からは、岩稜を下り、左手松霞新道を見送れば、原生林の中の尾根道となった。この付近から、二〇～三〇センチの積雪を見る様になった。笠盛山のピークを越し大ダワからの道を左に合せば、黒金山頂(二二三一M)はすぐだった。

黒金山頂は全面が大きく開けており、全峰から雲取りへ至る奥秩父主脈が一望だった。

しかし、前面の国師岳は、その山腹を一昨年完通の弛林道によって大きくえぐりとられ、痛々しかった。

頂上直下の陽だまりで大休止、係持参の甘酒をつくる。雪の照返しが、まぶしい。

黒金山頂からは、先ほどの分岐点迄戻り、一路大ダワへ向う。

本当に奥秩父らしい原生林の道、積雪は三〇～四

別名富士見峠の名のとおり、前方には富士山が大きい。左手尾根上のピークは乾徳山。ここで最後の大休止をした後、東奥高窪へ向け笹原の道を急下降したが、雪解けの泥道には苦労させられた。

やがて沢沿いの河原歩きとなり、それにもいささかあきた頃林道へとびだした。

そこから徳和部落は、わずかだった。

春の午後の陽差しの中、部落の空に白い凧が二つ浮いていた。

（文責・碇）

コースタイム

塩山（2.38〜3.40）—高平（7.08〜7.30）—乾徳山（8.45〜9.00）—笠取山（9.50）—黒金山（10.38〜12.25）—大ダオ（13.05〜13.35）—徳和（16.10〜16.55）

天候、快晴

45年度 会計報告

（収入の部）		（支出の部）	
前年度繰越	30,601-	例会費用	15,000
会費	50,000-	ニュース印刷費	200-
ワッペン立替分	600-	連絡費	5,546
定期預金利息	1,794-	備品購入費	4,945-
雑収入	50-	山行補助費	3,300-
		「しだ」印刷費	7,807-
		雑費	2,719-
	¥83,045-		¥39,517-

残¥43,528-
（内¥40,000-は定期預金）

45年度支部山行参加回数

十回　渡辺(三)、
八回　久保田、吉岡(信)
七回　渡辺(代)、佐々木(美)、勝、山田、
六回　飯田、阿部(か)、松井
五回　竹田、中野
四回　鈴木(回)、石山、石井、佐々木(修)、
斉藤、善波、石川、萩木、吉原
三回　関野、碇、吉岡(節)、小林、伊藤、
工藤(順)
二回　六名
一回　七名

年間一五〇〇一

"お知らせ"

○本部会費の切れた方は至急経済して下さい」
○支部会費の納入もお早めに。一、〇〇〇一
○六月例会はスライド映写を行う予定です。

予告

六月例会にて新ハイの植物の先生、林辰雄氏を、お招きして高山植物の話、スライド映写を行う予定です。ご期待下さい。

行事報告

三月十日　例会於婦人会館　出席四名
三月二十日　第九回支部山行(鉢山)　参加七名
四月四日　第十回支部山行大会(小葉中)　参加六名

行事予定

四月十三日　例会於婦人会館
四月六日　第十一回支部山行　行き(鉢山)
五月二十三日　第十二回支部山行　谷川岳

会日
12日
(水)
PM6:30
〜
9:00

列

坂
葉
帯人
会食

No.1482

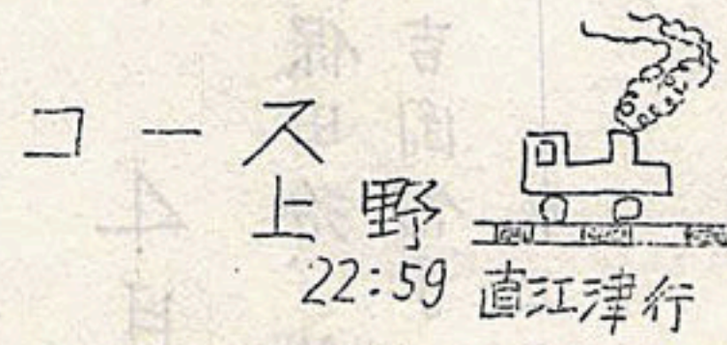
昭和46年5月12日
新ハイキング横浜
横浜市港北区太尾
〒220　2127 竹田
担当：竹田明・脇美

第196回支部山行

鳥帽子・湯ノ丸

6月6日(日)　前夜発日帰り　雨天決行

コース



Time　約6時間　足のある貴方なら歩けます。多数の参加を

約2,200円

携行品　弁当2食、雨具、Etc.……　地図1/2 上田

集合　5日(土) P.M 8:30
横浜駅7.8番線ホーム地下道上

係　山田　進　TEL 045-731-1938
(東燃岡村寮 P.M.10:30ま
渡辺関代　TEL 045-241-1818

レンゲツツジが咲き、展望がグンバツ
(ただし天気が良ければ)

第193回支部山行報告

大丘山 集中 4月4日

〔参加者〕(係) 竹田 明、久保田治、鈴木国之、
石井春男、鈴木利男、吉岡信子、
以上六名

係員のいない青梅線しろまる駅より、川のせせらぎを右に左に聞きながら厚い雲の下の林道、おせんべいを食べながら重い足取で歩きました。右には探勝路のしっかりした道がありますが我々は沢への道に入りました。丹沢の沢より年代的に古く、石は丸みを帯び、すべりやすそうで嫌な予感がします。

集中にこのコースを取った支部はいないのかで、二人だけにしてしまうのは悪いかも知れません。誰にも会いませんでした。

というのが六人の一致した結論です。巻道がついているので比較的楽に歩けるはずですが、どうぞあの時の事はお忘れ願います。

沢は短かくて残りの五人には物足りないようでした。最後のつめは急でした。

山頂到着二時四十五分。輪の仲間に入って歌い散会となりました。途中雨がぱらつき山頂近くではがスにおおわれましたが、我々が山頂に立つと同時に全く不思議な位同時に晴れ上がり横浜支部の威力を誇りたい気持になりました。皆が去ってしまった静かな山頂を後に御岳山のケーブル駅目指してのんびり下りました。ケーブルは石井さんと竹田さんが靴ずれで足を痛めていたからで、二人だけにしてしまうのは悪いかも残りの四人が附合いました。

それからもう一言、沢って嫌い、だけれど好きよ、皆親切なんだもん。

(吉岡記)



今年の梅雨は、五月中旬頃よりつゆの走りがあらわれ、本格的なつゆは昨年よりも早めになりそうで（平年は六月十日頃）ある。六月中旬頃につゆの中休みがあり、後半は前線の動きが活発になりつゆ明けは七月下旬初めのつゆ明け後一〇日間位は最高の夏山期間である。

ご存じですか？さあ考えて、考えて、

〈問1〉国土地理院の1/5万地形図について、

(a)等高線の計曲線は何メートルおきか。

(b)地図上の距離四センチは何キロか。

〈問2〉次の文章の空欄に適当な言葉を後から選んで番号を入れて。

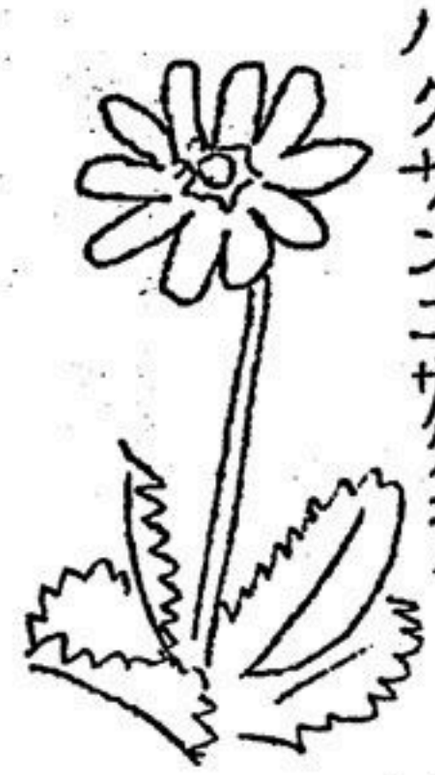
歩行にはバランスと(a)が大切である。いくら歩いても疲れない(b)を自分で体得しておく必要がある。歩行は常に余裕をもち、周囲の情況を観察しながら(c)と対比して歩く、(d)は第一回目は早めにとり

(1)大きめ (2)小さめ (3)リズム (4)ペース
(5)地図 (6)休憩 (7)地面 (8)天気 (9)服装

高山植物



ヒナウスユキソウ



ハクサンコザクラ



ウルップソウ

ツヤツヤとした大きなハッパが印象的

巻・問1 (a)20メートル (b)2キロ (c)3-4-5-6 (d)1

お知らせ

。しだ23号の原稿を募集
今からいつ提出してもよいように
用意して待っていて下さい。
。本部会費、支部会費の納入はお早めに!
。六月例会は、小会議室で行いますので、
おまちがえのないように。
。又、六月例会では、新ハイの植物の先生
林辰雄氏を、お招きして高山植物の話
とスライド映写と行う予定です。
御期待下さい。

。新入会者
井出真晴
中区桜木町
横浜桜木郵便局



ツガザクラ

行事報告

四月十三日　例会於婦人会館　出席26名
四月十八日　第194回支部山行
雨天の為中止

行事予定

五月十二日　例会於婦人会館
五月二十三日　第195回支部山行　谷川岳
六月六日　第196回支部山行
鳥帽子・湯ノ丸

例会
6月9日
(水)
PM 6:30
〜
9:00
紅葉坂
婦人会館
小会議室

ニュース

昭和46年6月9日 湘
新ハイキング横浜支
横浜市港北区太尾町
〒220 2127 竹田
担当・石川一男・渡辺三

第197回 支部山行

苗場山

7月4日(日)・5日(月) 前夜発 1泊2日(雨天決行

○コース：

4日 上野——越後湯沢——祓川——
4日 和田小屋——神楽ヶ峰——苗場山(
5日 苗場山——祓川——越後湯沢——上野

○歩程：1日目・5時間 2日目・4時間

○費用：4,300円（交通費・宿泊費・雑費）

○携行品：弁当2食・雨具・水筒・セーター・替くつ下

○集合：7月3日(土) PM8:00 横浜駅 7,8番線
ホーム地下道上
上野発 23:10 佐渡6号急車予定

○係：恒見信子 TEL 045(311) 0993
佐々木美智子 TEL 045(871) 4122

※

そ高標2,145mの苗場山は、越後の名山の名に恥じない、多数の池糖をちりばめたような平な山頂は、みごとな展望とありまの大な草原であり、空母艦を思わせる広大な越

岩195回支部山行報告

谷川岳・七

5月23日

〈参加者〉係：鈴木(和)・斉藤
久保田、山田、石川、吉原、茂木、宮川、
横山、白井、石塚、疲辺(関)、脇、小林、
松井、鈴木(満)、吉田、以上17名

〈コースタイム〉
上野(0:10)、土合(三:五八〜四:三〇)、マチガ沢出合(五:一〇〜五:四五)、幌雪小屋跡(七:三〇〜七:四五)、肩ノ広場(九:〇五〜十:三〇)、オキノ耳(十:四五)、一の倉岳(十一:三五〜十二:一〇)、芝倉沢出合(十五:二五〜十五:三五)、ロープウェイバス停(十六:四五〜十七:四〇)、水上駅(十八:〇五〜十八:二四)・上野駅(二〇:五三)

予定の電車を〇:一〇の臨時に変更して、ゆっくりと坐って土合へ着く。

空はどんよりと重く、せめて降らないでと願いながら広い舗装道路を行く。警備隊本部で登山カードを記入し、マチガ沢出合に到着。一歩〳〵、谷一杯の雪渓を登る。40分ほどで夏道にたどり着く。石楠花、こぶしの花に慰められながら、木の根、岩の根の歩きにくい道を過ぎ、小さな雪渓のトラバースを二、三回繰り返し、西黒尾根と出合う。

リーダーの言葉通り、天気は良くなり、青い空と白い雪のコントラストが明るく美しい。ザクザクの雪の斜面を登るのは、寝不足の身にはこたえる。雲海の上に雪のまだらな山が見えてきた。最後の雪の斜面を登り切ると、肩の広場で、熊笹の斜面の向うに主脈が続き苗場山が大きく見える。

トマの耳は人が鈴なりだ。ここで大休止。肩の小屋をのぞくと、雪どけの水と、ゴミの山でとても中へ入る気にはなれない。

トマの耳、オキの耳を過ぎ、一の倉岳へ向う。万太郎谷のゆるやかな線の斜面に比べ、右側一の倉沢側は絞線まで雪渓となっている。真昼の日を受けて暑い中を、最後の登りを頑張れば、一の倉岳へ着く。

中芝新道は避難小屋の物より、ゆるい斜面を下る。道は沢第に傾斜を増し、やせた尾根となる。石楠花はまだ紅いっぽみだけれど、花どきはきっと見事だろうと思われる。

ずり落ちるようにして下ってゆくとやがて芝倉沢へ出る。のめりそうな雪渓で、アイゼンを付けて慎重に下る。やっとゆるやかな所へ出ると、向いの沢からブロック雪崩……気味の悪い事この上なり。

強風が通り抜け、足早に雪渓を下ると一休みする。終バスの時刻を気にしながらところ〴〵雪の残っている新道を、一ノ倉沢、マチガ沢の出合も通り、若葉の美しさを愛みながらバス停へと急いだ。

土の匂い、草の香り……そこは人と自然とがはじめて触れあうところ。そこまで人の影もなかった土地に、人が踏み入り、草木を踏み行った軌跡。それはほんのであったろうが、もしの後を追って行ったとしたら、そしてそんな人が後を断たなかったとしたら、そこには道が残る。はじめての山、未知の自然の中へと進まねばならなかった人の為にした理由、目的の重さが一本の跡をひいたとりってもいい。

現代の道は巨大な機械によってつくられ……なく不安もなり。ただ現実の大道がえぐり出されていくだけにすぎない。バラスを入れ、舗装して自動車が走りだすと、そこには自然の一かけらもなくなってしまう。人ぞれは幻影のように路上に何のかげも残してしまう。通るだけでは行かなり。ただ機能としての道がそこに存在している。厂史の重みのない、こんな道がなんと多いことだろう。

（山行紀よりし）

お知らせ

◎南野巨さんが3月7日結婚されました。おめでとうございます。

・住所…戸塚区影取町九九番地九

・新しい仲間です。皆さんよろしく

※白井洋一　横須賀市富士見町一の一〇・港南郵便局

※鈴木満代　横浜市保土ヶ谷区峰岡町二の二九五・富士銀行・川崎支店　勤務

・茅が岳（7月11日・前夜発）以上・係・

・夏山・平ヶ岳（7/24～7/28）〆切6/30　石川一男

行事報告

・5月12日　例会於婦人会館　出席31名

・5月23日　第195回支部山行　谷川岳

・6月6日　第196回支部山行　鳥帽子・湯の丸

行事予定

・6月9日　例会於婦人会館

・7月4.5日　第197回支部山行・苗場山

・7月14日　例会於婦人会館

次回例会

7/14
(水曜日)
PM: 6:30～
PM 9:00
紅葉坂
婦人会館
小会議室

夏山スライド
映写予定

●〝個人山行の誘い〟

○安達太良山（6月20日・前夜発）

○7月25日・前後5泊6日・夏山・花と温泉至仏・尾瀬ヶ原・燧ヶ岳・もう一山頂会津駒そして〈最も素晴しい会津田代にも訪れます・一報向

○茅が岳（7月11日・前夜発）以上・係は

○夏山・平ヶ岳（7/24～7/28）〆切6/30　石川一男

T・E・L・(三四一)五三八〇

久保田治

Tel. (761) 1317

ニュース

昭和46年 7 月 14 日
新ハイキングクラブ横浜支
〒220 横浜市港北区太尾町
竹田
担当 石川 一男、渡辺 三

第198回支部山行

横浜支部創立
15周年記念キャンプ

日時　8月21(土)～22(日)日　1泊2日

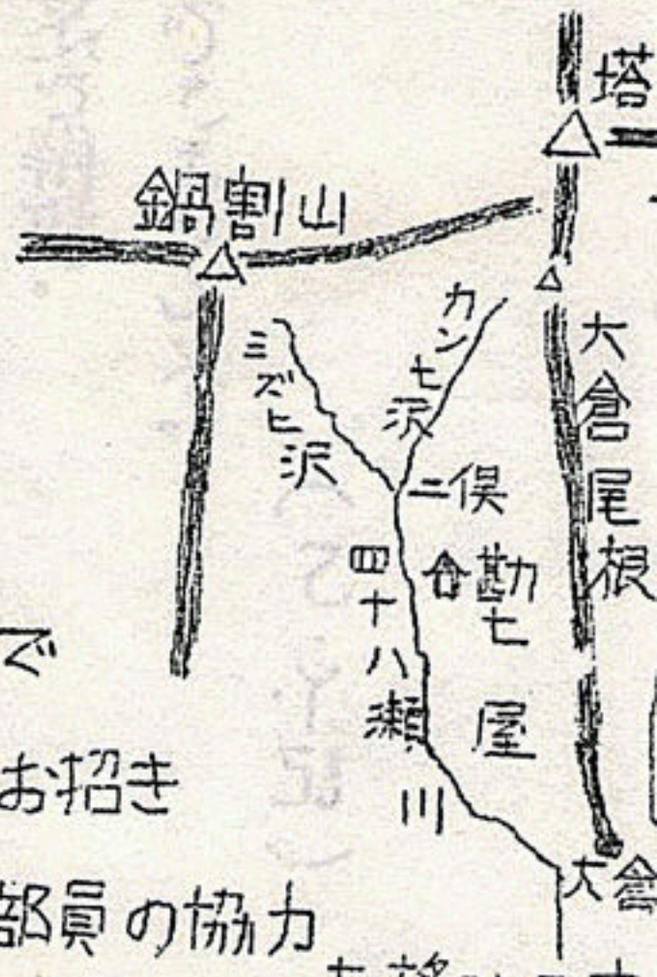
場所　四十八瀬川

勘七小屋付近河原にて幕営・大倉より徒歩約7

係り　竹田 明・山田 進・石川 一男・善波 英雄
吉岡 信子・佐々木 美智子・脇 美英子・渡辺 三

その他
- 詳しくは8月例会で打合せをしますので参加希望者は、必ず例会に出席して下さい。
- テントを都合できる方は、係りまでお知らせ下さい。

8月22日
- ○沢にはいる予定
- ○係り　石井 春男
- ※詳しくは8月例会席上で。
- ○S32年2月に発足して以来、今年で15年目となります。OBの方々もお招きして、楽しいキャンプにする様、部員の協力を望みます。



第196回 支部山行報告

鳥帽子・湯ノ丸

参加者（係）山田 進、渡辺 関代
久保田 浩、石井 春男、吉岡 信子
斎藤 隆子、阿部 早苗、松井 百代
恒見 信子　　9名

6月6日

気象庁の発表によれば、明日の天気はくもり後雨、であるとの予報にもかかわらず、参加者9名と相成った。上野駅より全員着席して田中駅へ、明日の天気を気にしながら出発。

前日の心配が〃ドタリピタリ〃と当たり〃雨〃。おまけに湯ノ丸へ行くはずのバスが道路工事のため、奈良原温泉までしか行かないとのこと、皆んなの賛否をというこになり、バスを待つ。ところが時間になってもバスがやってこない。バスの運ちゃんに聞けども？？〃の返事。しかたなくあきらめて近くに巡はないかとさがしていたところ、駅員より（国鉄だよ、親切だったよ）小諸の菱野温泉の鹿鳴館を紹介してもらい、さっそく直行。温泉につかってトランプを始める。

帰りは、鈍行列車に乗ったが連絡が良くないので急行に乗り換え無事上野駅へ。車内検察がなかったので急行券は〃ウッシッシッ〃。

横浜ステーションビルのビアガーデンにてグラスをかたむけ、千鳥足で解散。

雨はやはり歓迎できませんネ。

（S・Y記）

そこで、栄養価の高い卵を使った料理をあげてみました。
一度おためし下さい。

スクランブル エッグ

○材 料（4人分）

卵	4個	
ピーマン	1〜2個	あられ大
玉ねぎ	1〃	大きめせん切り
スイートコーン（缶詰）	1/2カップ	
トマト	1個	さいの目
ベーコン	2枚	こま切れ

（切り方）

○使り方

① 玉ねぎ、ベーコンをサラダオイルでいためる。

② 玉ねぎがやわらかくなったら、トマト、ピーマン、スイートコーンを加え、塩、こしょうで味付けする。

③ 材料がやわらかくなったら卵4個を割りほぐし、野菜といためる。

（卵はかたくならないように、大きくまぜる。）

。その他、好みの材料を適宜応用しても、独特の味がでる。

特製おぼろ

○材 料（5人分）

シャケ缶（小）	1個
卵	1個

○使り方

1 シャケの身をほぐし、卵とよくまぜあわせる。

2 1の材料を、フライパンか鍋でよくいためる。

（好みにより、砂糖、塩を加えてもよい）

注。このおぼろに、さやえんどう、カンピョウのり等を添えて、お酢のご飯の上に盛るとおいしい〃五目飯〃になります。

お知らせ

○新しい仲間です。よろしくお願いします。

吉田 典子　東洋共同海運K.K.

横浜市磯子区磯子町間坂　1093-14

○「しだ」23号の原稿、大募集!!

皆様、大変お待たせ致しました。

〃しだ〃の原稿募集の時期がやって参りました。

今すぐお手持ちの原稿を投函して下さい。

しめ切り　10月末日

あて先き　〒254　平塚市代官町14~24

助川　美代子

○〃個人山行の誘い〃

7月25日　黒斑山（前夜発日帰り）

夏山へ行かれない人、大歓迎。

係り　山田 進（電）731-1938

8月3日~8日　飯豊山縦走

係り　竹田 明（電）531~2742

8月7日~10日　栗駒山と早池峰山

係り　渡辺 関代（電）241-1818

○行事報告

6月9日　例会於婦人会館　出席28名

7月4日　才197回支部山行　苗場山　中止

○行事予定

7月14日　例会於婦人会館

8月21~22日　才15周年記念、キャンプ

8月28~29日　合同キャンプ

次回 例会 8月10日 火曜日 PM:6:30~PM:9:00 紅葉坂婦人会館 研究室

NO.145
昭和46年8月10日
S・H・C横浜支
横浜市港北区太尾
2127 〒220 竹田 明
編責・佐々木美智

ニュース

第200回支部山行

平 標 山

9月12日

(前夜発日帰り
雨天中止)

コース
上野 ═══ 越後湯沢 ——— 元橋 ---- 松手山 ---- 平標
仙ノ倉山 ---- 平標小屋 ---- 大源太山 ---- 三国峠 — 後関 ═══

歩程	約7時間	
費用	約2000円	
携行品	弁当2食・雨具・ETC	
地図	5万分の1	四万
集合	11日(土) P.M 9:00 横浜駅 7・8番ホーム 地下道上	
係	善波英雄	TEL 0463-22-5747
	渡辺三世子	TEL 0467-45-7852

平標山は、なだらかな谷川連峰の西端の山である。
草原状の美しい山であり、高山植物の宝庫としても有名であり、晴れていれば、360°の展望が楽しめる。

第199回支部山行

長岳ケビン村合同キャンプ（秋川渓谷）

8月28日(土)～29日

コース

川崎(or武蔵小杉)＝＝＝立川＝＝＝五日市

15分バス 落合橋(上養沢行乗車)--7分徒歩-長岳ケビン村

費用　¥560（交通費）

参加料¥100は、支部で負担します。

携行品　寝具　その他

係　竹田　明

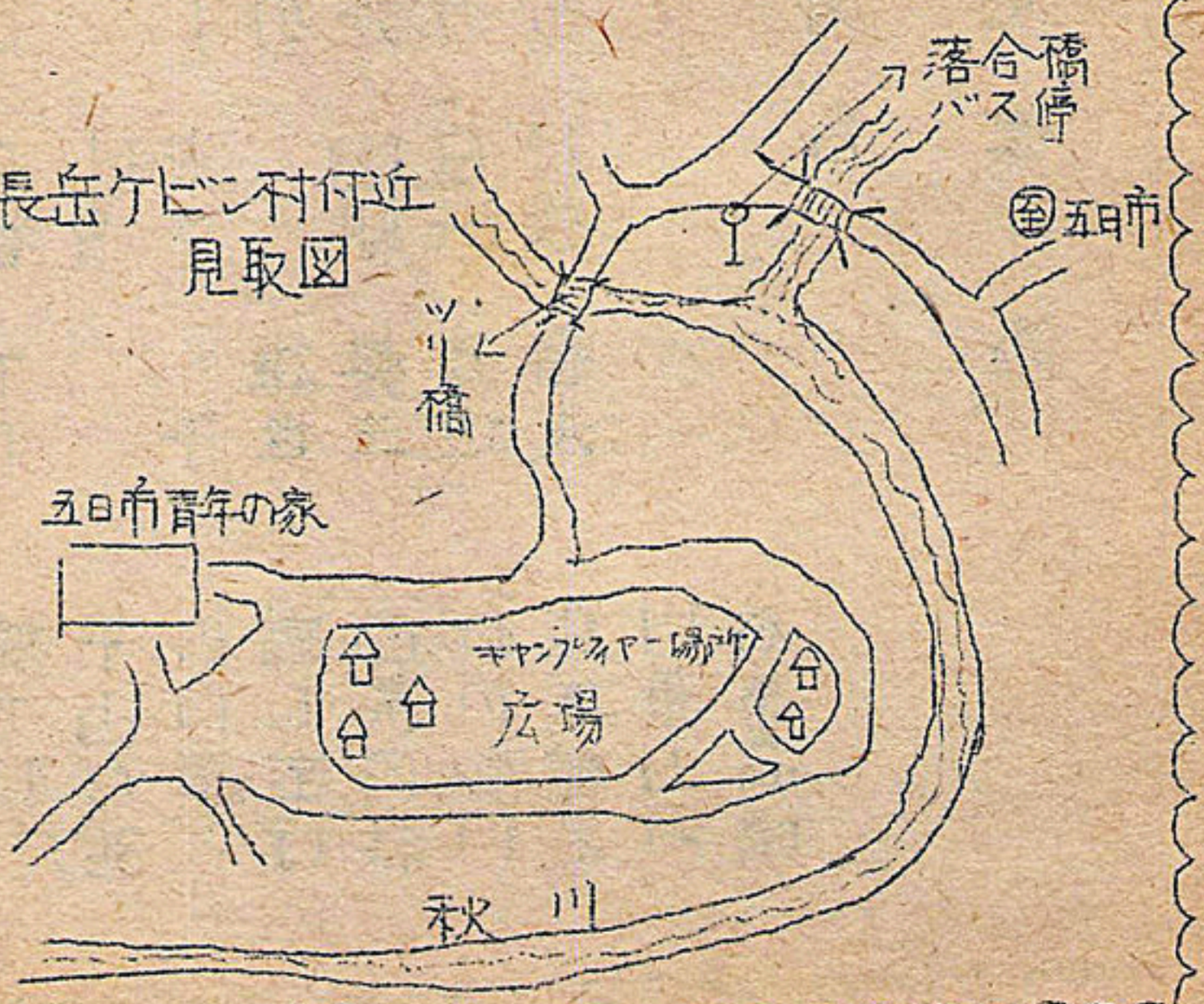
TEL. 531－2792

（13日迄に必ず申し込む事）

〃ファイヤー開始
19:00 〃

{ 29日は、午前中全員にて、追跡ハイクなるものを、行います。 }

長岳ケビン村付近
見取図



○交通費　約500円　○食費　約900円

○参加希望者は、テントその他の都合もありますので、至急竹田近申し込み下さい。
TEL　531－2792

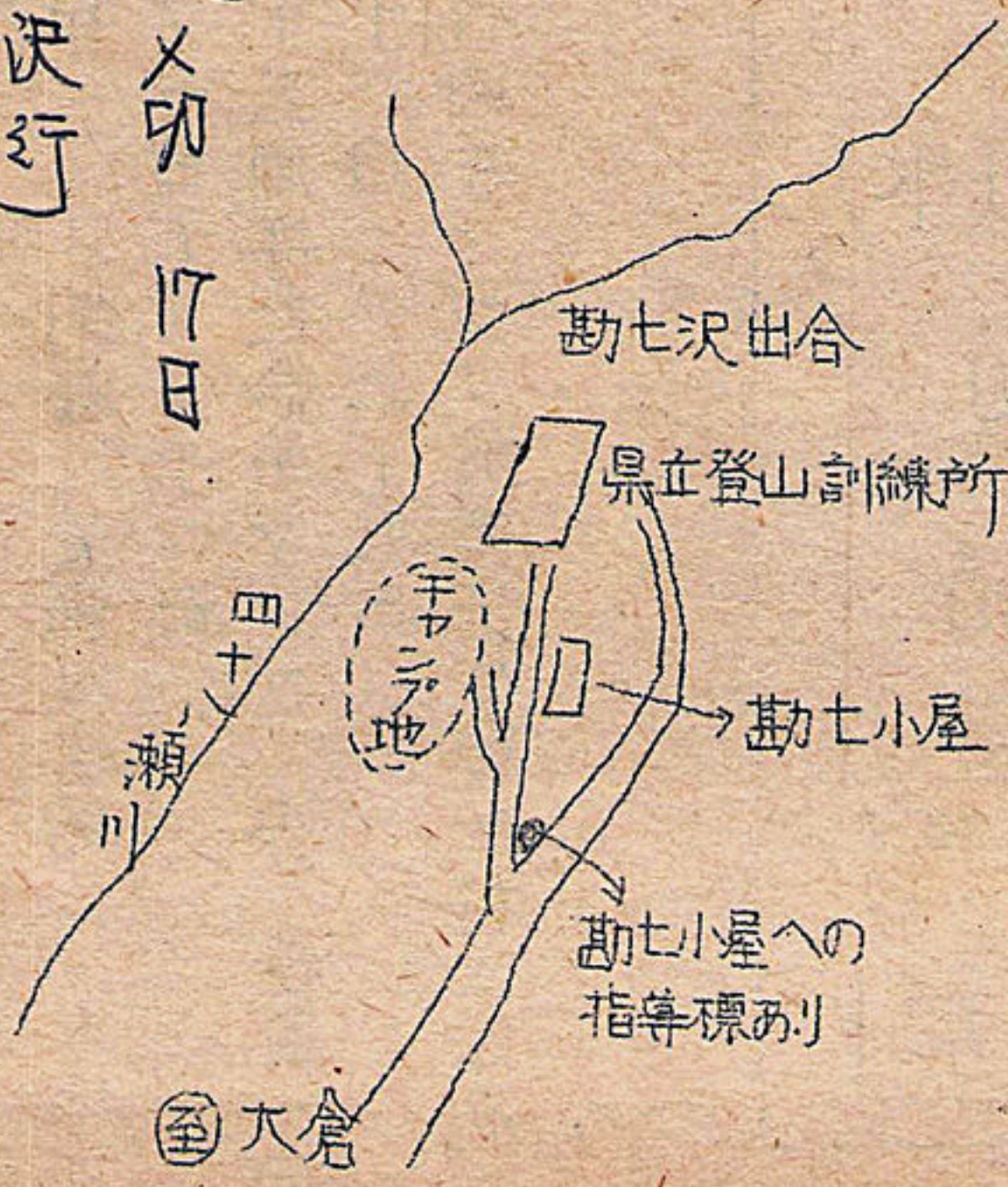
○当日はなるべく、19：30迄に現地に着ける様、お願い致します。
（現地近入りません。）
タクシーは、現地へはなるべくまとまって行きたいと思いますので、集合できる時間を申し出て下さい。

○寝具は用意出来ませんので各自で都合して下さい。尚14日迄に竹田近にお渡し下されば こちらで、現地に運びます。

○21日の夕食を希望の方は、ご連絡下さい。

○持ち物　食器・寝具・ライト・米一合（21日の夕食も必要な人は二合）
沢登りする人は、ワラジ・古たび

申込〆切　17日
雨天決行



お知らせ

◇新入会員招介

石塚恒夫　藤沢市辻堂元町　四ー三ー一八
　　神原様方

〃

行事報告

七月四日　行　住反電工勤務　昭和36年男体山
　初めて行った山　北海道夕張岳
　行きたい山

七月十四日　第197回支部山行　苗場山
　天候不良の為中止
例会・於婦人会館
　出席　29名

行事予定

八月十日　例会・於婦人会館
八月二十一日〜二十二日
　十五周年記念キャンプ（係）役員一同
八月二十八日〜二十九日
　合同キャンプ於長岳ケビン村　係・竹田

例会

9月8日（水）

P·M　6:30
〜
9:00

紅葉坂
婦人会館
研究室

NO.146——1——
昭和46年9月8日発行

ニュース

S・H・C 横浜支部
横浜市港北区太尾町 2127
〒220　竹田　明
編責　佐々木美智子

第101回支部山行

会津駒ヶ岳

10月10・11日（前夜発1泊2日）

コース

10日　上野——会津若松——会津田島——桧枝岐
----滝沢橋----水場----大池駒ノ小屋（泊）

11日　小屋----会津駒ヶ岳----中門岳往復----水場
----滝沢橋----桧枝岐——会津田島——
鬼怒川温泉——浅草

歩　程：1日目　4時間，　2日目　4時間

費　用　約 5,500 円

携行品　弁当2食・雨具・水筒・防寒具・食器等

集　合　10/9(土) PM 8:30 横浜駅7・8番線ホーム地下道上

係　石川一男　吉岡信子

申込　9月25日(土)まで　TEL (761) 1317 石川
(981) 9798 吉岡

会津の仙境．2000メートルの山上の秋は．
きっと静かな中で、私達の訪れを待っているでしょう。

外務局支部山行報告

15周年記念キャンプ（丹沢）

八月二十一日（）二十二日

〈参加者〉

久保田治	関野 昌	石山 武	
竹田 明	中野善雄	山田 進	
石川一男	横山勝利	増田 豊	
吉岡信子	渡辺貴代	斉藤隆子	
北村玉江	渡辺三芳子	吉岡節子	
脇美英子	小林正江	松井百代	
鈴木満代	安室光江	佐来美智子	

先発隊として、他に出発。大倉より約1時間、やっとキャンプ予定地の田十八瀬川の河原につくと、すでにテントが幾張も張られている。他のグループに場所をとられたかと、一瞬とまどうが、先の石山さんと、沢の下見に行く予定だった石井さん等が、準備してくれたものでまずは安心。

4時。夕食の仕度を初める頃、鈴木満さんが到着。続いて2人、3人と到着し、賑やかになってくる。6時過ぎ、久保田さんの車で数人が着き、やっと全員集合。

8月半。キャンプのクライマックスであるキャンプファイアーにうつる。まずは聖火ランナー入場（石川さん）、記念キャンプ開催の挨拶、キャンドルサービス、続いて久保田岩父長の合図で、高く積まれた薪に点火。

仕入れてもらい、石山さんの車で荷物だけは四人。渋沢で女性3人に25名分の食料を

一気に燃えあがるファイアーを囲んで全員で、「もえろよ〜〜」と合唱。

山田さんのリーダーのもとに、歌にゲームに熱が入いる。（石山さん、花火を最後に幕となる。（ミヨちゃんも、打ち上げ花火の準備ご苦労さまでした）

後は各自、思い〜〜残火をかこんで話の花が咲く。

約2時間の楽しい集

5時半。起床へ誰だか6時頃迄寝ていた人がいましたね。5時から起きて朝食の仕度をしてくれた人達ありがとう。）

7時半。ミズヒ沢に行く人達を見送ってから、テントを撤収。10時頃、久保田さん他数名のお人が先に帰る。残る数人で昼食のソーメンを作り初めた頃、沢へ行ったグループが、無事に帰着。（誰も落ちなかった様で、残念でした。）

2時半。テント場を清掃して、全員手荷らで帰途に着く。（石山さん、荷物が重くて早が泣いていた事でしょう。）

キャンプを無事終了して、今回のキャンプ。創立15周年と言う事で計画した事は多くの人達の協力により、無事終了した事は非常に嬉しく思います。特に15日の薪切りの日、当日とテント等を車で運んで下さいました久保田さん、石山さん本当に助かりました。又キャンプには参加出来ませんでしたが、実行委員として薪切り等に協力して下さりありがとうございました。ここ水から20年、25年と支部は続いて行く事でしょう。「協力」と言う事を忘れず、又「協力」の心をもってて和との有る支部を築いていけるよう願うものです。竹内記

お知らせ

◇退会者招介

伍々木　隆

◇しだ23集原稿募集

夏山シーズンも終り、楽しかった、原稿の材料は、豊富だと思います。その感激のさめないうちに、書いて脇さんへ提出下さい。

行事報告

八月十日　例会・於婦人会館

八月十一～十二日　第193回支部山行　15周年記念キャンプ　出席25名

八月二十八～二十九日　第199回支部山行　合同キャンプ

行事予定

九月八日　例会・於婦人会館

九月十二日　第200回支部山行・平標山

(途)善波・渡辺(三)

十月十日～十一日　第201回支部山行・会津駒ヶ岳

(係)石川・吉岡

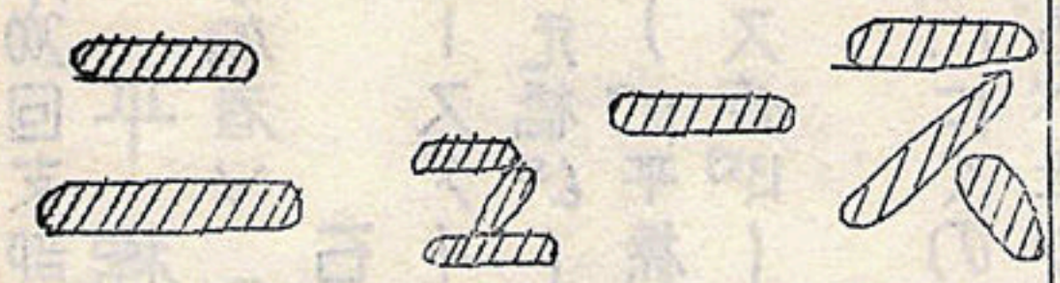
例会

10月13日(水)

P.M 6:30 ～ 9:00

紅葉坂婦人会館

小会議室



昭和46年10月13日
新ハイキング横浜支部
〒220 横浜市港北区
太尾町2127 竹田明
担当 菩波英雄
吉岡信子

第202回支部山行

浜石岳

11月 日 日帰り 雨天中止

◇コース：横浜——由比------西山寺-----
浜石岳---立花の池 -----外洞---
舉津 ——— 横浜

◇歩　程：5時間

◇費　用：約1,100円

◇持　物：弁当・水筒・雨具・防寒具等 地図1/5万
吉原

◇集　合：11月 日 横浜発 6時54分
静岡行最後部内
大船 7時10分・平塚 7時33分

◇キップ：横浜 —— 由比

◇係　：鈴来国安



湾又.
駿河湾に足元に等プス360度の
れば南アルす。
て山、台で
れ士望展
晴富太

第200回支部山行報告

平標山　9月26日

へ参加者V（係）菅波英雄　渡辺三世子
　　石井春男　横山勝利　脇美英子
へコースタイムV上野 6:50 元橋 6:55 〜 10:20 平標小屋 12:05 〜 12:35 平標山 10:35 〜 11:10 仙ノ倉山 11:20 〜 14:40 越後湯沢 15:06 〜 18:13 上野 バス停 13:50 〜 14:45 越後湯沢 6:15 〜 4:45

あいにくの空模様のため、行くべきか、行かざるべきか考えた末、行くことに決定。ガラ空きの電車でのびのびとねむり、なお一層空いてしまった越後湯沢駅で下車・見あげれば満天の星。どうやら期待がもてそうだ。

一番バスに乗り込み、さわやかな沢音をたてている元橋でおりる。一気に松手山へと登りつめる。一歩進むごとに後方の苗場山の頂きに近づいていく。今日あの山を登っている友は、どの辺を歩いているのかしら・・・ でもきっと、同じことを考えているに違いない。

松手山から平標山、仙ノ倉と、のびやかに続いている尾根道には、秋の薫りがいっぱい。三部染めの山はだに、こじんまりしたススキの穂。気分壮快な散歩道。ふもとではいともさわやかに吹いていた風も、稜線に出るとさすがに強く、葉っぱを飛ばして喜こんでいるうちはまだしも、休んでいられないほど強くなってくると、いやみになる。

谷川連峰から巻機山、そのはるかむこうに言く浮かんでいる佐渡ヶ島と展望のつきない仙ノ倉山頂を風に追いたてられて、早々に下山。頬にポツポツと当たってくる雨粒を気にしながら・・・

昼寝でもしたら気持ち良さそうな草原を横目に、一気に平標小屋へと下る。小屋の前で小休止。雨脚もだいぶはやくなりミ国峠は断念して小屋の横から元橋への近道を降りる。30分程の急降下で林道へ飛び出し飯場で昼食。あとここから40分程歩けばバス停である。

浜石岳の思い出

41年11月20日　私は「石井さん登山靴持っていないのかしら」と言ったそうです。当のご本人は全く覚えのない事ですが、横浜支部の記憶力の良い先輩の何人かがそういうのですから間違いないので しょう。八月のクズハ沢以来正会員になって支部山行参加二回目だった私は、白い運動靴姿の石井さんを見て恐らく本気でそう思ったのでしょう。富士山が見えたのかどんな様子の山だったのかすっかり忘れました。朝早く起きて五時四十分頃に横浜駅へ行った事とみかんが沢山なっていた事と、ジャンケンに負けて荷物を三つも持ち泣きたい気持で歩いた事をよく覚えています

それから、頂で待っていたのもこの山行でした。（吉岡記）

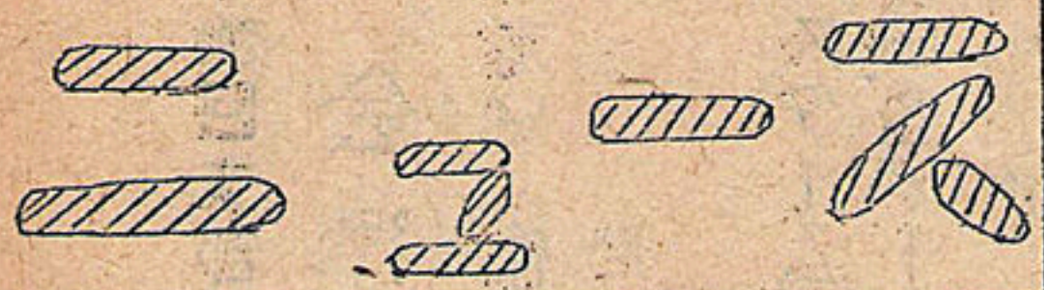
若い旅



お知らせ

◇しだ23号原稿只今募集中
十一月の例会までに提出して下さい
◇
◇
◇

昭和46年11月10日
新ハイキング横浜支部
〒220 横浜市港北区
太尾町2127 竹田明雄
担当 善波英雄
吉岡信子



第203回支部山行

男山 天狗山

12月5日 前夜発

◇コース：新宿——小渕沢——信濃川上——
大深山中央------馬越峠-----天狗山
-----男山------佐久広瀬

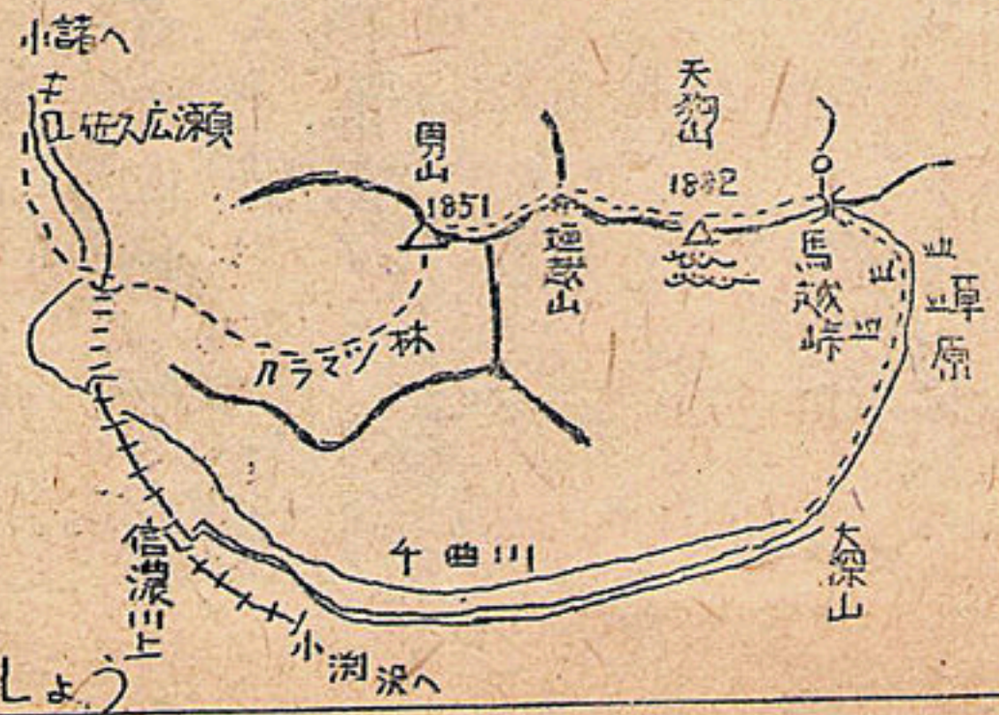
◇歩　行：5時間

◇費　用：2200円

◇持　物：弁当2食・水筒・雨具・防寒具等

◇集　合：4日(土) P.M 8時30分
横浜駅7,8番線ホーム地下道上
新宿 23.55 長野行乗車予定

◇係　：山田　進 1938
TEL (731) 不要
申込　年ぜの寂でしょう
忘たた人静る
たしもれ
っまを山くた
なり峰なひ
異な岩的少に
とにな性も地
来行快男れ境
従山豪る訪な



第201回支部山行報告

会津駒ヶ岳

〈参加者〉(係)石川一男　吉岡信子
　　足立久子　山田進　他一名

〈コースタイム〉上野23.50 ― 会津若松5.08 ～ 5.31
会津田島7.31 ― 7.50滝沢橋10.10 ― 10.50水場13.10 ― 13.30池ノ平大池15.07 ― 15.25キリンテ11.20桧枝岐11.45 ― 12.55小屋8.20六津岐峠9.15 ― 9.25キリンテ11.20桧枝岐11.45 ― 12.55会津田島15.25 ― 15.44鬼怒川温泉17.55 ― 18.31浅草20.53

10月7日（木）

夏休みもとらず、この日の為に残しておいた連続休暇、三泊四日で会津駒ヶ岳から田代山へやって来ました。例年より寒さが早く、夜行列車の寒さと、長いバスの行程にすっかりまいってしまい今までの意気ごみもどこへやら、今日一日の山行を無事終了できるか心配だったのに登るにつれて、紅葉のすばらしさに小屋へ着くころはすっかり元気になりました・小屋のおばさんが草でかわいらしいかごを編みながらあったかい部屋に迎えて下さり、山から帰ってからしたおじさんと友と四人ストーブをかこんで山小屋の気分にひたりました。まだあまり人にけがされずにある駒ヶ岳いつまでも自然の美しさを保ちつづけるよう皆で守ってゆきたいものです。明日のお天気を祈ってランプの燈を消しました。

10月8日（金）

以前から憧れの山であった駒ヶ岳私のもっているイメージはハクサンコザクラのかわいい花の間にところ

どころ残る白い雪、太陽を受けギラギラ輝く池塘

しかし今は秋、想像もしていなかった紅葉の美しさにただ目をみはるばかり

七月の終りに平ヶ岳に行き池塘と緑の草原のすばらしさに今まで他の山で得られなかった心のやすらぎを覚え一生私の宝物である平ヶ岳、後を振り返り振り返り降りてきたその平ヶ岳に登っている間ずっと見守ってくれた会津駒　やっと今日その頂に立とうとしている

私達二人だけの今日の駒ヶ岳

きっとすばらしい思い出となるであろう

10月11日（月）

又一つ私の心の中の想出がふえた

数多い山行の中で私の心をつかんではなさない数少ない一つの山、

会津コマはこれからも私の心の中から、

はなれないことだろう。

紅葉を求めて東北まで足を延ばしたかいあって会津駒はすばらしいづくめで我々を迎えてくれた。北風に吹かれる前の残り少ない命を勢いっぱい燃やしている・天候に恵まれ駒ヶ岳山頂より中門岳への湿原はキツネ色に色づき碧い空を映した池塘　廻りの山々は全山紅葉　原色のないその色付けは所々雲の影をおとして能衣装を見るようである。

夕陽は明日の天気を約束して美しく沈んでいった。そして朝それを守ってすばらしい御来光を拝むことが出来たお陽様も私達の行を賞めてくれたのだろうか

たゞタメ息とすばらしいの連続だった

今日の山行にも係の顔をたてて最後にちょっぴりおしめりを

グリーン車ーパンク故障ー林道工事ー
紅黄葉の道ー中門岳ピストンー日没ー強
風・寒気ー御来光ー平ヶ岳・越後三山・
越ヶ岳・銀山湖ー錦絵の樹海ー霧雨ー蛇
・カエルーダンプカーー雨……冷害ニモ
カカワラズ実リタキ山旅シリーズニピリ
オドラ打ツ。

一番遠しかった事、それは七月末苦労
して登った平ヶ岳が見えた事です それれ
から中門岳への散歩道は実に快い 落日
もご来光も見ました 何の心残リもなく
会津駒の思い出を心に記しました

駒の小屋の落書帳を開く時、あなたは見い出
すでしょう。彼らが友の筆跡によるこの一頁を
。

紅葉黄葉の明かるいトンネルが五人を迎え送っ
てくれた会津駒の山行報告を忠実に綴ってみ
ようと思います。共に歩いた仲間の感動を伝
えるために。

10/4(土) 上野駅23時10分頃、乗った電車の
事から書き始めるのは小学生の作文だと新田
次郎さんは書いていますが、あえて私は上野
駅の事から書き始めました。二番目の順番を
確保していた五人の前に停車したのは、普通
自由席の看板にもかかわらずグリーン車、そ
れで一騒動、運転手の停車位置が一輌ずれて
しまった為で、本日の係が悪かったせいでは
ありません。駅員の言がふるっています「一
番後の車輌がガラ〈ですから。」そのはず
看板のない所に停車したわけですから。「で
もねえ後の山形行では面倒だし……しやっと
、以後ご注意あれ。乗リ換えるのは四つだけ確保した次オ
とんだハプニングもやと心を離れて臨時バ
スのバス旅行を順調に続けている折リも折リ
、休憩地点でパンク修理に行ったバス、なか

なか我々を迎えに来てくれない。バレーボールをして待った五人の心お察し下され・この小一時の長かった事、係が悪かったのではなく道が悪かった事を念の為。

滝沢橋で下車したのはキスリング組を含め、て三パーティー、汽車とバスの疲れを休め、食べて、深呼吸をして、さあ出発だ。林道を少し歩いてすぐ尾根にとりつく。『そんなに急ぐと山が逃げるよ、ゆっくり行こうゆっくり行こうあせらずに行こう……』

ガタ〜うるさいブルドーザー。嫌ですねえ、少し登ると何やら林道らしき大きな道が出来つゝあるんです。歩きやすく道をならしてくれたおじさんに文句は言えませんが、今すぐこの工事を止めて下さいと言いたい心境。耳について離れなかったブルドーザーの雑音もいつしか聴界から消えて深まりゆく秋の中に身を沈めました。急登を覚悟していた登り出しも巻いているので大いに助かります。三十分歩くと休み、ササカマボコ、ナシ、ミカン……秋の味覚もたっぷり、噂と経験から今年の紅葉はパッとせず又色づきも例年より早いとの事で、先に予防線を張って期待せずに行ったのが良かったのか、以外や以外でした・これはきっと係が良かったせいでしょう・中腹からの紅葉は一日遅かった感は否めませんが、期待が小さかっただけにその喜びは大でした。

天候も秋雨前線がどう動いて高気圧がどう動いたのかだんだん上昇ムードとなり、歩く足も軽やかに、紅葉の道を賛美しました。赤く燃える情熱的な紅は若い五人の心にぴったりですが、黄色の山道も明かるくさわやかで好印象を心に刻みました。巻機山の登りにも苗場山の登りにも相通ずる所がありますが今日の登りが一番のように感じました。

立ち止まって、振り返って、見上げて、あらゆるものを吸収しようとすばらしいトンネルの歓迎にキョロ〜しました。立ち上がってあと三十分位で水場だろうと話していたら

五分も行かない内に水場の矢印にぶつかりました。
「あっ、見えたわよー」右手前方に小屋の赤い屋根が見えた時はやっぱり嬉しくなりました。さあ、もう一息頑張りましょう。
15時・予定通り順調に小屋到着。天候回復に気を良くしている五人は荷物を下ろすと早速山頂への道を詰めました。狭くて詰まらない山頂は素通りして期待の中門岳への道に一歩二歩足を踏み入れました。木の間を下って行くと、思わず「わぁー」と前方に広がる光景に目を奪われました。なんとも気持の良さそうな道がゆるやかにどこまでも延びているのです。こんな散歩道があるんですもの、やっぱり山はやめられません。目を閉じて想像して下さい・あなたの前にはまだいくらかの下りが残っています。さあ忙がずもう少し高度を下げて・・・中門岳の入口はここから始まります・横中はそんなにありません・奥へ奥へと続いているのです・夏は緑の草原、今は秋の色にすっかり衣がえしてその姿を見せてくれました。この渋さ、けれどその中に気品と優雅さを含ませているのです。こんな中に人間としてお目めたい何かが沢山あるように思われました。右手前方の山は丁度良い色に色づき、こんもりとした重厚さがすぐれています。左手の展望は明朝の楽しみで今は姿を隠しています。さすがにゴミ一つ落ちていません。それから我々の他は誰もいません。一番感激した原因はここにあったかもしれません。「こんな所は一人だけで味わいたいなあ」と冗談言ったら皆本気にしていたようです。一人ではさびし過ぎるような！！やっぱり五人の中門岳ですね・普通に往復すると約一時間ゆっくり往復すると約一時間半、ブーラ〜〜往復すると約二時間・今日は食べて寝るだけですから気まか世足まかせ・やっと折り返し地点にたどりついたところで寝転がって青空を見ながら洋かんを食べました。池塘は真中から奥よりに

いくつかありますが、「小屋の前にある池塘で炊事出来ますか。」と久保田さんと石井さんに質問したところ「中門岳の池塘なら大丈夫だよ。」と言って私を困まらせましたが、確かに中門岳の池塘はきれいでした。中でも木の間の細い道ぬかるみに気を配って下を見ていると、急に大きな池塘へ飛び出す所がありますが印象的な池塘です。大きくて立派な池塘で、誰かさんの写真では上手なのか下手なのか海かと見間違えた程です。中門岳の語りはいつまでも尽きませんが「百聞は一見に如かずし下手な語りよりはあなたもぜひ一度は——です。

山の端に傾く日を静かに見届けて、空腹をしのんで食べるとすぐ飛び出しました。無知と言うか馬鹿というか、クマザサをかき分けたり、ハイマツをくぐったり、「ねえ東はどっちなの」雲海を眼下に見下ろすときまはまるで三千メートルの山からご来光を待つ感じ。一つにも変らぬおごそかなひとときです。

五人お気に入りの中門岳へ又出掛けます。小屋のおばさんは時間が早いから同じ道を下るよりキリンテへ行った方が良いと助言してくれました。8時小屋着を目標にヌブーラブラ、燧ヶ岳の双耳峰もくっきり・平ヶ岳もくっきり、銀山湖も。越後三山には少々雲ありの散歩です。

・左ばかりを見ながらの朝の散歩ですね。小さな雲山の天気は全くむずかしいです。本日の向天を祝して乾杯、スキヤキ鍋を囲んで山のタベを楽しみました。

はたちまち広がって、大きな雲に成長しているのです。

大きな三階の部屋、五人は隅の方へ小さくなって寝ました。シラフも布団も毛布も充分あります。遠慮なくお使い下さい。

小屋のおばさんに別れを告げてキリンテへの下山路に踏み出しました。小し行くと左手に紅葉の山波が見下ろされます。錦絵の樹海

正にそんな感じです　なだらかな稜線づたいの道は、おばさんの推せんコースだけあって気持よく嬉しくなりました。この嬉しさはこの先もう少し下った所で更に強く感じたのです。頭がどんな格好だったか、どんな顔をしていたか見定める余裕なんか全くありません。かなり不くて長くて思い出しただけでもぞくぞくっとします。紅葉だけ目を奪われないよう、足下もキョロキョロして、出るぞ出るぞと気を配っていたので今度は飛び出してきたカエルにびっくりです。

バスの時間には一時間もあるので松枝岐まで歩いて蕎そばを食べようと勇んで林道を歩き始めました。後を歩いていた山田さんと久子さんが小ダンプカーにちゃっかり乗り込んでいます。ついでに残りの三人も荷台へ乗せて貰いました。運転手さん、何をやけになっているのか、スピードを出し過ぎるので荷台の三人はたまりません。頬に叩きつける雨の痛いこと、おちおち話も出来ず、ただ〳〵振り落されないようにしがみついていました。蕎

「正にそんな感じです　なだらかな稜線づたいの道は、おばさんの推せんコースだけあって気持よく嬉しくなりました。この嬉しさはこの先もう少し下った所で更に強く感じたのです。頭がどんな格好だったか、どんな顔をしていたか見定める余裕なんか全くありません。かなり不くて長くて思い出しただけでもぞくぞくっとします。紅葉だけ目を奪われないよう、足下もキョロキョロして、出るぞ出るぞと気を配っていたので今度は飛び出してきたカエルにびっくりです。

バスの時間には一時間もあるので松枝岐まで歩いて蕎そばを食べようと勇んで林道を歩き始めました。後を歩いていた山田さんと久子さんが小ダンプカーにちゃっかり乗り込んでいます。ついでに残りの三人も荷台へ乗せて貰いました。運転手さん、何をやけになっているのか、スピードを出し過ぎるので荷台の三人はたまりません。頬に叩きつける雨の痛いこと、おちおち話も出来ず、ただ〳〵振り落されないようにしがみついていました。蕎

そばは現在作っていないらしく、食べはぐれてしまいパンと熱い紅茶で我慢しました。

帰りのバスはパンクしないように祈りながら車窓からの紅葉を追い求めました。会津田島までの二時間半、乗り次いで二時間　計四時間半バスに揺られたのもなつかしい思い出。

車内では「水虫ちゃん」「サントリーレッド」の歌が好きなグループが声をからして歌い続け、時には一緒に声を合わせました。東武車内ではトランプに興じ、これをもってすべてを終了しました。

一泊二日の会津駒の思い出は、抜かれる心配も抜く心配も全くない五人の別天地であり、この事が何もかもを物語っていると言えるでしょう。

紅葉ー秋気温の低下につれて葉から茎への物質移動が困難となり、あるいは葉柄に離層が分化しはじめる結果　葉に糖類が蓄積すると色素が形成されてくる。

都会ではもうほとんど見ることができなくなった赤トンボが、坂をあえぎながらいくおそい列車の窓からすをとしのべれば、すぐつかめそうな距離のところを、群をなして泳ぎすぎていく。

一駅ごとの標高は高くなり、気温は一駅ごとに下っていく。東京を離れてから何時間も走りぬける風とたたないのに、残暑は窓を通して入ってきた。山腹は全くの秋である。秋がこんなにも、気分をそう快にするものかとあらためて驚きをいだかせられる。

一貨車しか引いていないすれ違う蒸気機関車のはき出すもうもうたる煙は、スモッグとは感ぜられない。高原を行く一点景として、煙のにおいは、むしろ樹海から吹き寄せてくるアイトンチッドの芳香を一層鮮明に感覚させる役割すら果している。

いまは、時間的にも、高さの違いによる場所的にも、季節の変化は大きい。

お知らせ

◇新しい仲間です。どうぞよろしく。
バリバリ歩きます。誘ってください。
益子 仁 鶯見区鶯見町九〇九番明寮
森 久枝 港北区大豆戸一〇三〇
東洋製缶株寮

◇住所変更
吉田典子 中区本牧三の谷二三三
TEL(62)〇九九五

◇個人山行
石打丸山スキー場
12/11～12 二、五泊サービスチェーン天野屋旅館
山田 進 申込先 TEL (781) 〇九三八
初滑りです 気軽にどうぞ

◇12月8日例会於婦人会館

行事報告

◇10月10日(水)201回支部山行
会津駒ガ岳 参加4名

◇10月13日例会出席21名

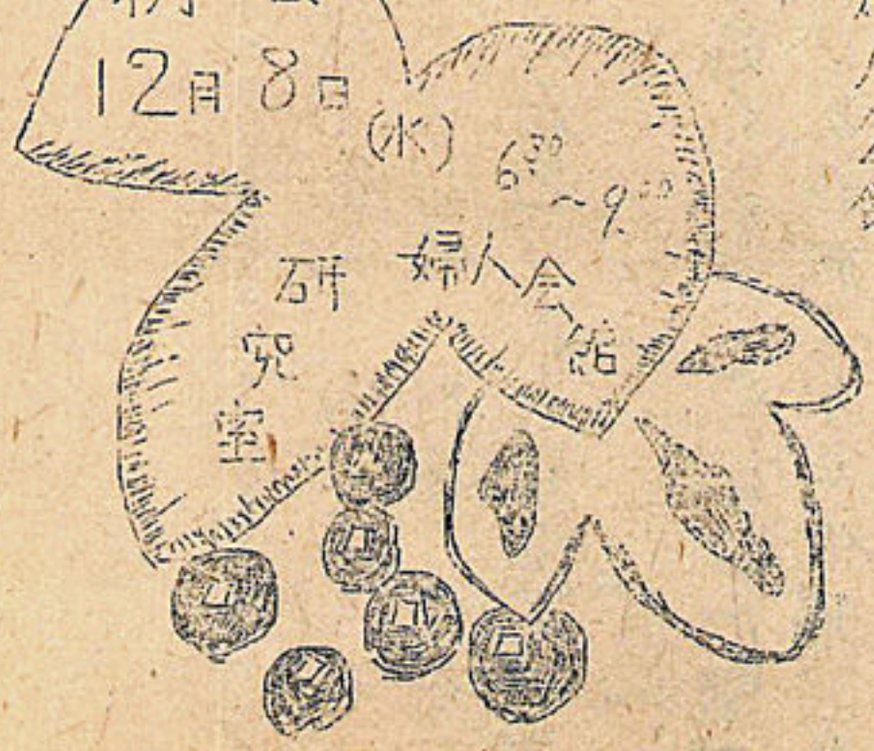
行事予定

◇11月14日(水)202回支部一行
(係 桑木国文)

◇12月5日(水)203回支部一行
(係 山田 進)

◇〒234 平塚市代官町一四ノ二四 脇美英子

上記の住所に訂正のお知らせです。まだですが、すぐかわって隣りとなりますので、下さい 住所は



149

昭和46年12月8日
新ハイキング横浜支部
〒221 横浜市神奈川区
西寺尾町1545
さくら荘 竹田 明
(担当)石川一男・渡辺三世子

第204回支部山行

第1回

ハイキング

1月9日

日帰り・雨天中止

※歩　程：2時間30分
※費　用：1,000円
※持　物：弁当1食・雨具・防寒具・水・等
※集　合：9日(日) 午前7時30分・横浜線
東神奈川駅ホーム上
※地　図：5万・都留
※係　：中野善雄・久保田治

(241)5380
(連絡先)

◎岩峰の山頂たたつと360度の大展望た
時のたつのをわすれます。見える峰々は
富士山，三ツ峰，谷ヶ山，大菩薩，三頭山，な

佐々木紫智子
(戸塚区吉田町1138
(87)
※33

第202回支部山行報告

滝 石 盃

へ参加者〉〈16名〉鈴木国え
へコースタイム〉
横浜(6:54)…由比(9:43)…浜石岳(12:20)…
由比(16:20)…横浜(19:32)

横浜から由比まで約2時間半。由比駅前は家族づれや女性のハイカーが目立ち、登山靴で来ているのは、我々を含めて極わずか。ちょっと白けた感じである。こんなに重装備(?)で来なくてもよかったかな。と思う。でもいったくらいである。左手に浜石岳を仰ぎながら、ミカン畑の中をぬってくり登る。相当急な斜面までミカンの木が植えられており、そこまでの道は全部舗装されていて、歩きにくかった。途中の標識は、正確に「頂上まであと○○○のてすっぱ

お方しといった調子である。でも時間に関係なくミカンの甘ずっぱい臭いと、海苔の臭いが鼻をつくなかを進む。

最後の登りは急だった。12時20分山頂到着。人とゴミでいっぱいだった。遠くに重をかぶった南アルプス、箱根、富士山、南側のすそ野が少しかくした富士山、南側のすそ野が少しかくした富士山へ斜、富士川へドロの酸河湾なり。それとヘドロの酸河湾を渡る時、更車の中まで臭かった。し等が見わたせる。すくさま人気のなり所まで下り、風食、混声合唱会と楽しくて時間を、すごし山を後にした。途中、道を間違えてがした天を下ってやっとのことでミカン畑に出られた。へ重装備今こで来て良かったよ!」

ホットして休んでいる時途中追い越した6才位の子を連れた奥さんが、同じ所を降りて来たのには、驚いた。最後に一言、取りたてのOOOのてすっぱくていいなあ!

◎木版画の作り方……木版は道具を使いますが、機械に頼するものは殆んどありません。あくまで手仕事が中心。簡単で手軽に想像の創造も気持できますので正月に私用さんてみてはいかがですか。

(1) 木版画の材料
(a) 木版画用彫刻刀……主に使うもの
　に版木、御造、駒造、三角刀の4種。文房具店で一組三百円位。
(b) 版木……桂、朴(ほう)　千歳大で¥30
(c) 和紙……ドウサを引いたものとそうでないものの二種がある。ドウサの引いてあるものは参み加減のよい。初果がある。
(d) バレン……摺刷用具。市販品。
(e) 刷毛……障子紙を張るときの刷毛でもれ用でできます。
(f) 絵具……透明水彩、不透明水彩、ポスターカラー。
(g) 転写用具……画用紙、トレッシングペーパー、絵画必用品。

(2) 木版画の手順
(a) 下絵を描く。
(b) 下絵を写す。
(c) 版木に糊をつける。
(d) 版木の切口の方から水にならす。
(e) 下絵とは左右逆に張りつける。
(f) 彫り残す部分から先に向けて最初の刀を入れる。
(g) 刀先に近い所に親指を当てると彫り良い。
(h) 柄の先端を親指で調節しながら彫る。
(i) 駒造ですくう。
(j) 三角刀・駒造で版ボカシに彫る。
(k) 水で湿して下絵や糊にしめりけを与える。
(l) 版の上に水でゆるめた糊をおく。
(m) 墨と糊を刷毛でませる。
(n) バレンで摺る。
(o) 摺り上り。

（仁人出行）

◎一月十五・十六日　申し込み　久保田　迄・
　〃　西上州　天丸山　〃　健脚
　御伺メ切　12月20日

お知らせ

⊙新しい仲間の招介

伊沢堅志　：戒子区滝頭2の3の5
北村多美子：逗子市逗子1の8の2

⊙住所変更

竹田　明　：神奈川区西寺尾町1545
　さくら荘

⊙竹田　明さん・碇　清人さん
結婚おめでとうございます。

◎二月三日～二十二日　スキー

※一月の例会にて、恒例の"おくりもの"
交換を行いますので、"一人二百円程"
の物を用意して来て下さい。
"手紙"を、忘れずに入れて下さい。

◎一月の例会　徐

へ行事報告へ

※11月14日　ホ202回支部山行　洗石岳　参加者7名
※11月10日　例会出席者24名
※12月5日　ホ203回支部山行　男山・天狗山
　（伝）久保田

へ行事予定へ

※1月9日　ホ204回支部山行　ホーミスティリーハイク　中野
※1月12日　例会於婦人会館

